



# LAYANG LAYANG

## 4-5月の出来事

### 宗教的信念に寄り添う食品廃棄減量セミナー

4月6日・7日、2年間で実施しているJICA事業の一環で、コミュニティベースでの食品廃棄物減量に向けたセミナーを開催しました。食品廃棄物が増加するといわれているラマダン時期に向け、コーランの教えに基づいて、食材を余すことなく活用することや、少しずつ必要なものだけを買う腹三分目買い物法などが説明され、来場者は耳を傾けていました。この事業では、食品廃棄に関わる意識変容や具体的行動につなげるため、特に家庭・コミュニティに焦点を当て、コミュニティベースでの啓発プログラムを実践し、2019年1月からの3か月間で約25%もの食品廃棄物が削減されたコミュニティもありました。



ラマダン時期に向けた啓発



プログラム前半修了証授与

草の根技術協力事業「宗教的信念に寄り添った食料廃棄減量プログラムの実践」 期間：2018年5月～2020年5月  
 馬側機関：廃棄物公社(SW-Corp)、イスラム理解研究所(IKIM)、マレーシア日本国際工科院(MJIT)、マレーシア環境技術公社(MGTC) 日本側機関：筑波大学

### 食品系廃棄物の堆肥化・リサイクルループ構築の民間連携事業

5月15日、廃棄物公社本社にて、キャメロンハイランドでの食品廃棄物の堆肥化・リサイクルループ構築の事業開始にあたり、署名交換式を行いました。

日馬の実施機関である楽しい株式会社と廃棄物公社は、フレイザーズヒルズでの食品廃棄物の堆肥化を実施しており、より規模の大きいキャメロンハイランドでの食品廃棄物の回収・堆肥化、その堆肥を農家に還元してより品質の高い農産物を生産・販売するリサイクル事業の成功にも自信をにじませていました。



楽しい株式会社、北九州市の代表も参加した署名交換式

草の根技術協力事業「マレーシア国食品系廃棄物の堆肥化及びリサイクルループの構築に係る普及・実証・ビジネス化事業」  
 期間：2019年5月～2022年3月 馬側機関：廃棄物公社(SW-Corp) 日本側機関：楽しい株式会社(Merry Co.)

### 本年度も海洋での潜水実習、鑑識実習など目白押し

5月14日、マレーシア海上法令執行庁にて、日本から海上保安庁職員2名の同席も得、同庁とJICAの合同調整会議を開催しました。ここで、2019年度のプロジェクトの活動として、世界一周の遠洋航海実習中の練習船「こじま」への乗船をはじめとする7つの本邦等での国外研修や、鑑識、潜水、船舶立入検査など5つの馬国内での研修を実施するという計画を確認し合いました。

9月の船舶立入検査研修では、ASEANだけでなくアフリカの国々からも研修員を招くことや、2月の潜水研修では海洋実習を含めること等も話し合われました。



技術協力プロジェクト「マレーシア海上法令執行庁教育訓練能力向上及び地域連携強化プロジェクト」  
 期間 2018年5月～2021年5月 馬側機関：マレーシア海上法令執行庁(MMEA)

## 帰国研修員、「食育エプロン」マレーシア版を製作

マレーシアでは18歳以上人口の48%が肥満とされています。このような問題の解決に向け、JICAでは食育をテーマとした本邦研修を実施しています。

5月2日、2018年9月に第1陣として渡航した研修員の帰国報告会を開催しました。帰国後約半年のうちに、日本で学んだ「食育エプロン（食物が口に入って体の中をどのように通過し、吸収され、排泄されるかを、アプリケで示しながら学ぶエプロン型教材）」のマレーシア版の制作・小学校への配布、保健省内での定時（11時・4時）放送での5分間ストレッチ体操の開始等、研修で学んだことを活かしている事例が次々に報告されました。

これからの2年間の成果もさらに期待されます。



マレーシア版食育エプロン



保健省でのストレッチ体操

本邦研修「LEP2.0 食生活関連疾病予防のための食育アプローチ」 期間：2018年4月～2021年3月 馬側機関：保健省（MOH）

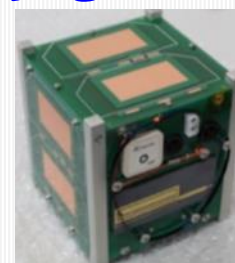
### トピックス

## 3年間の研修で超小型衛星開発！馬国内でコンペティションも

マレーシア国立宇宙局から合計9名の技術者が、各年度3名、各3カ月、九州工業大学超小型衛星試験センターにて技術研修を受けました。1年目は設計と構築、2年目・3年目は構築と環境テストに進み、最後には粗削りではありますが、10cm四方の超小型衛星が1基できました。

この超小型衛星はマレーシア国立宇宙局で引き続き開発が進められ、参加者たちは今後、マレーシアの大学での衛星開発への技術的助言や、小型衛星のR&Dを推進するために高校や大学レベルで啓発活動も行っていく予定です。現在、姿勢制御、画像取得、データ取得、GPS測定等ができる缶サイズの超小型衛星のコンペティションを実施中で、9月には最終審査と発表・表彰も予定されています (<http://siswasat.angkasa.gov.my/>)。

本邦研修「LEP2.0 小型衛星のデザインと試験に係る技術開発」 期間：2016年4月～2019年3月  
馬側機関：マレーシア国立宇宙局(ANGKASA)



開発された小型衛星



本邦研修での開発の様子

## 道の名前が「SAFODA JICA」?! 昭和時代の協力が

Jalan SAFODA JICAをご存知ですか。

サバ州キナルートからパパールにつながる道にJalan SAFODA JICAという通りがあります。幹線道路から少し入った小さな道ですが、大きな標識もあります。昭和62年（1987年）に開始したJICAとSAFODA（Sabah Forestry Development Authority:サバ森林開発公社）との「サバ州造林開発計画」とそれに続く協力事業に関連して、SAFODAの研究施設へつながる道にこの名前が付けられました。コタキナバル国際空港から車で16kmほどです。令和を迎えたこの時期に、昭和の時代から続くJICAとのつながりを改めて感じました。



車が走っている道 ↑が  
Jalan SAFODA JICA

プロジェクト型技術協力「サバ州造林技術開発訓練計画」及び同フォローアップ  
実施期間：1987年3月～1992年3月、（1992年3月～1994年3月） 馬側機関：サバ州森林開発公社（SAFODA）

## ラマダン&ハリラヤ プアサはお買い物の季節♪

皆様ご存知の通り、ラマダン（2019年は5月6日～6月4日）はムスリムにとって聖なる月であり、日の出から日の入りまでの断食が求められます。断食はイスラムの5つの基礎戒律の1つとされています。本質的に、断食は、日常活動を行いながら欲望をコントロールするといった躰を強化するようなものです。

高温で時に湿度の高いマレーシアでの断食はとても厳しいといえます。一方、この厳しさは、マレーシア人の購買意欲を減らすことにはつながりません。この時期、「Berbuka puasa(断食明けの最初の食事)」のための食品購入、女性用の「Baju kurung」や男性用の「Baju melayu」や「Songkok」といった伝統的な衣装、この時期ならではのクッキー、さらには断食明けのお祝いである、ハリラヤプアサにむけた飾りつけを買い物している人の姿が見られます。

この時期の買い物で特に特徴的なのは、国中あちこちの街角に仮設テントで開催されるRamadhan Food Bazaarです。Berbuka puasa用の食欲をそそるようなごちそうが大小さまざま並べられます。このバザールの利点を活かし、新しくユニークな食べ物を並べている食品販売者も見られます。このバザールはオープンで、誰でも楽しめます。ただ、マナーとして重要なのは、このバザールでは買ったものを人前で飲み食いしないことです。訪問客の多くは断食中ですので。

また、この時期、多くのレストランはラマダンbuffetを催します。あちこちで素敵な飾りつけが施され、食事中に伝統的マレー音楽の演奏が楽しめる場所もあります。ラマダンbuffetでは、家族みんなでテーブルを囲む姿や、相手先や同僚とのビジネスディナーを楽しむ姿が見られます。

クレジットカード会社や銀行も、この時期のお買い物を促進するような、提携企業でのお買い物の特別優待を行うこともあります。

食品以外でもハリラヤプアサ用のお買い物も盛んです。ショッピングモールの外でも、小売業者が自治体の指定した特設会場に店を広げ、不動産や自動車販売業者もバザールの特設会場で展示しているのも見られます。

ネットショッピングや、宿泊、ツアーなどもキャンペーンを組み、買い物意欲が盛んなこの時期にセールスをかけています。

ラマダン・ハリラヤプアサの約1か月間は自社商品やサービスの売り込みの好機ともなり、ビジネスが盛んになります。実際に、他の時期に比べて多くの人たちが積極的に買い物をし、購買意欲が増す時期でもあります。

中央政府や地方政府も、ハリラヤボーナスという形で職員に可処分所得を出し、消費を後押ししているといえます。全般に、この時期は宗教的なことを考える時期ではありますが、お買い物の時期でもあります。（文責：シャリザ シャリフ）



Bazaar Ramadhan



カラフルな氷入ジュース



生絞りジュースにお菓子も



特設会場に並ぶ伝統衣装

JICAマレーシア及びニュースレターのバックナンバーはこちら→ <http://www.jica.go.jp/malaysia/index.html>

JICAホームページはこちらから→ <http://www.jica.go.jp>

配信(追加、停止等)に関するご希望、ご意見、ご要望など → [ms\\_oso\\_rep@jica.go.jp](mailto:ms_oso_rep@jica.go.jp)

### JICA Malaysia Office

Level 29, Menara Citibank, 165 Jalan Ampang 50450 Kuala Lumpur Malaysia

Tel: 603-2166 8900 Fax:603-2166 5900 E mail address : [ms\\_oso\\_rep@jica.go.jp](mailto:ms_oso_rep@jica.go.jp)